

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.1

### 1. 定格・環境条件

1-1. 定格入力電圧	AC100V、 50/60Hz、 1.25A (電源内蔵)
1-2. 消費電力	定常時最大 60.3W(非給電時2.2W)、最小1.2W
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0~40℃ 動作湿度範囲 20~80%RH (結露なきこと)
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20~70℃ 保管湿度範囲 10~90%RH(結露なきこと)
1-5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA
1-6. 耐性	静電気放電(ESD) : IEC61000-4-2 (10kV) 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level2 電氣的ファストランジェントバースト : IEC61000-4-4 Level3 電氣的サージ : IEC61000-4-5 Level3 (AC line) 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level4 瞬停/電圧変動 : IEC61000-4-11

### 2. 形状

2-1. 形状及び材料・色彩	大きさ : H46×W201×D88(mm) (突起部は除く) ケース材料 : ABS 色彩 : サテングレー 電源コード : 長さ2m、2Pアース付き
2-2. 質量(重量)	720g

### 3. ハードウェア仕様

3-1. インターフェース	ツイストペアポート: RJ45コネクタ 8ポート (ポート1~8) (※1) 伝送方式 : IEEE802.3 10BASE-T : IEEE802.3u 100BASE-TX 伝送速度 : 10/100Mbps 全/半二重 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリー5相当以上) 最大伝送距離 : 100m オートネゴシエーション機能 : 10Mbpsまたは100Mbpsおよび全/半二重を自動的に切り替えて動作します。 ポート1~7は、各ポート最大15.4Wまで給電可能。装置全体で49Wまで給電可能。 ※1 省電力モードと省電力型イーサネット(EEE=Energy Efficient Ethernet)をサポート 省電力モード: リンクアップしていないときにポート毎の接続状態を検知し、 電力消費量を必要量に抑えることが可能(工場出荷時:無効) 省電力型イーサネット(EEE=Energy Efficient Ethernet): IEEE802.3az (LPI)に対応。リンクアップ時にデータ通信が行われていない場合、 自動的に省電力状態に移行し、ポート毎に電力消費を抑えることが可能。 (工場出荷時:無効)
3-2. スイッチング	スイッチング方式 : ストアアンドフォワード スイッチング容量 : 1.6Gbps パケット転送能力 : ノンブロッキング 最大 14,880pps/ポート(10Mbps) 最大 148,800pps/ポート(100Mbps) MACアドレステーブル : 2Kエントリー/ユニット ジャンボフレーム : 非対応 バッファ : 96Kバイト フロー制御 : 半二重 バックプレッシャー 全二重 IEEE802.3X エージング : 200~400秒 透過可能フレーム : EAP、BPDU HOLブロッキング防止 : 対応

作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.2

### 3. ハードウェア仕様

#### 3-3. LED表示

- (1) POWER (電源) LED  
 緑点灯: 電源ON  
 消灯 : 電源OFF
- (2) ANY COL./EEE. (コリジョン/EEE) LED  
 消灯 : 省電力モード/EEE無効(※2)  
 緑点灯 : 省電力モード/EEE有効(※2)  
 橙点滅 : ポートでコリジョン(パケット衝突)発生  
 異常信号受信
- (3) PoE LIM. (PoEリミット) LED  
 消灯 : 0~42Wの範囲で給電  
 緑点灯 : 42~49Wの範囲で給電  
 橙点滅 : 装置全体のオーバーロード  
 (装置全体の要求給電電力が49Wを超える場合)  
 または  
 ポート単体のオーバーロード  
 (ポート単体の要求給電電力が15.4Wを超える場合)
- (4) STATUS/ECO (ステータス/ECOモード) LED  
 緑点灯 : ステータスモードで動作  
 緑点滅 : ECOモードで動作  
 橙点滅 : システム障害発生
- (5) PoE (給電モード) LED  
 緑点灯 : 給電モードで動作
- (6) 100M (スピードモード) LED  
 緑点灯 : スピードモードで動作
- (7) FULL (DUPLEXモード) LED  
 緑点灯 : DUPLEXモードで動作

各ポートの表示は表1(次ページ)を参照してください。

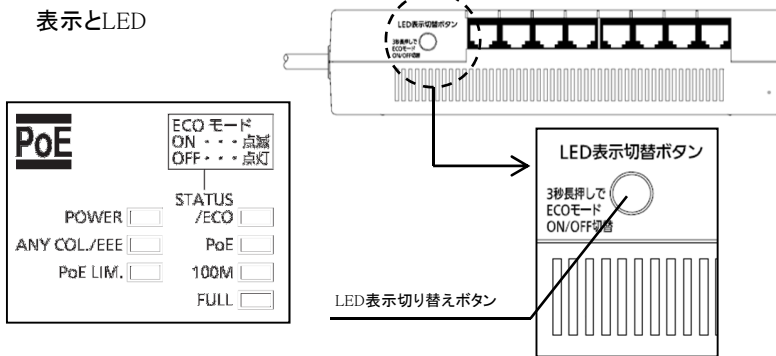
前面部にあるLED表示切替ボタンを使用して、接続している端末と接続確認の表示(ステータスモード)、PoEの状態表示(給電モード)、10/100Mbpsの伝送速度の表示(スピードモード)、全二重または半二重の伝送方式表示(DUPLEXモード)、全てのポートLEDを消灯(ECOモード)させることができます。

電源起動時のモードをベースモードといいます。ベースモードはステータスモード(工場出荷時)とECOモードの2種類があります。ベースモードの切替はLED表示切替ボタンを長押し(3秒間以上押下)することにより変更できます。切替が正常に行われると、STATUS/ECO LED、PoE LED、100M LED、FULL LEDの計4つのLEDが一斉点灯し、消灯後、STATUS/ECO LEDが点灯あるいは点滅します。

また、給電モード、スピードモード、DUPLEXモードのいずれかに変更し、LED表示切替ボタンを1分間使用しなかった場合には、自動的に指定されたベースモード(ステータスモードあるいはECOモード)の表示へ戻ります。ベースモードは電源OFFになっても保持されます。

※2 省電力モードとEEEの有効/無効切替について  
 LED表示切替ボタンを10秒長押し(10秒以上押下)することで省電力モード/EEEの有効/無効を変更することができます。(工場出荷時無効)  
 EEE有効時、「ANY COL./EEE」LEDが緑点灯します。  
 有効/無効の設定については、電源OFFになっても保持されます。

表示とLED



作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

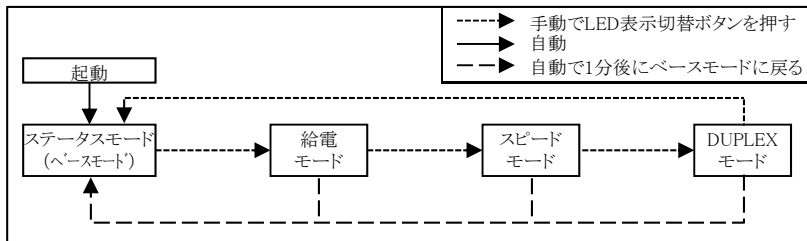
品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.3

### 3. ハードウェア仕様

#### 3-3. LED表示

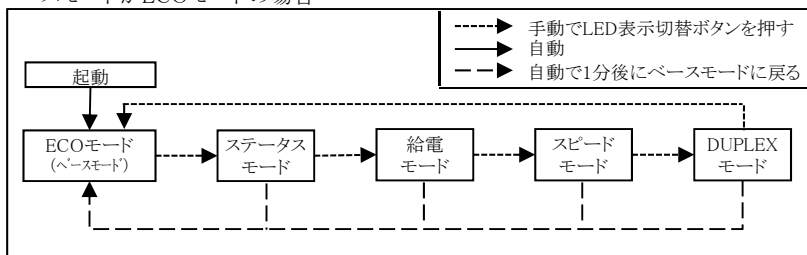
LED表示切替の状態遷移について  
2種類のベースモードと各モードのLEDは以下のように切替えることができます。

ベースモードがステータスモード(工場出荷時)の場合



切替(3秒長押し)

ベースモードがECOモードの場合



各モードのLEDとポート1～8のLEDは以下のように対応します。

表 1

モードLED	表示モード	LED表示	ポート1～8の状態
STATUS/ECO	ステータスモード (工場出荷時)	点灯	緑点灯: 端末との接続が正常 緑点滅: データ送受信中 消灯 : 未接続
PoE	給電モード (ポート1～7)	点灯	緑点灯: 正常に給電 橙点滅: ポート単体のオーバーロード、または 装置全体のオーバーロード 消灯 : 給電していない、または、 PoE受電機器未接続 ※ポート8は常に消灯
100M	スピードモード	点灯	緑点灯: 100Mbpsでリンクが確立 消灯 : 10Mbpsでリンクが確立あるいは未接続
FULL	DUPLEXモード	点灯	緑点灯: 全二重でリンクが確立 消灯 : 半二重でリンクが確立あるいは未接続
STATUS/ECO	ECOモード	点滅	消灯 : 端末との接続、未接続に関わらず、 すべて消灯

#### 3-4. カスケード接続

ポート8はAuto MDI/MDI-Xに対応  
ポート1～7は、MDI-X固定

#### 3-5. PoE給電機能

IEEE802.3af給電機能  
ポート1～7に最大合計49W給電可能(ポートへの最大給電能力15.4W)  
給電方式 : Alternative B(ケーブルの空き線 4,5,7,8 利用)  
優先制御 : ポート番号の小さいポートに優先的に給電

#### 3-6. ファン

無

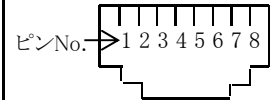
作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.4

#### 4. コネクタ ピン配置

##### 4-1. ポート1~7

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	Rx+	Rx-	Tx+	Tx-	+V	+V	-V	-V



##### 4-2. ポート8

状態	ピンNo.	1	2	3	6
MDI-X	信号	Rx+	Rx-	Tx+	Tx-
MDI	信号	Tx+	Tx-	Rx+	Rx-

#### 5. 設置方法・付属品

5-1. 設置方法	(1) スチール製OAデスクへの取り付け(裏面のマグネットにより直接取り付け) (2) 木板等スチール製以外の壁面への取り付け(別売の取付金具(PNA001)を使用)
5-2. 付属品	(1) 取扱説明書 :1冊 (2) マグネット(本体に装着) :2個

#### 6. 別売品

6-1. 取付金具 (品番:PNA001)	2個入り 木板等スチール製以外の壁面への取り付け用
--------------------------	------------------------------

作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.5

## 7. 安全確保のための使用上の禁止事項

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です  
 下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。  
 この装置のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) 交流100V以外では使用しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (2) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない  
 感電の原因になるおそれがあります。
- (3) この装置を分解・改造しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (4) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない  
 電源コードが破損し、火災・感電の原因になるおそれがあります
- (5) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
 感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (6) 開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります
- (7) 水などの液体がかかる恐れのある場所、湿度が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります
- (8) 直射日光の当たるところや温度の高い場所で、保管・使用しない  
 内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。
- (9) 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で、保管・使用しない  
 落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。
- (10) ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX以外の機器を接続しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (11) この装置を火に入れない  
 爆発・火災の原因になるおそれがあります。

作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.6

## 8. 安全確保のための使用上の注意事項

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です  
下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。  
この装置のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) 故障時は電源プラグを抜く  
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。
- (2) 必ずアース線を接続する  
感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。
- (3) STATUS(ステータス)/ECO(エコ)LEDが橙点滅となった場合は、故障のため電源プラグを抜く  
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。
- (4) この装置を壁面に取り付ける場合は、別売の取付金具(PNA001)を使用し、  
本体および接続ケーブルの重みにより落下しないように確実に取り付け・設置する  
けが・故障の原因になる恐れがあります。
- (5) ツイストペアポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う
- (6) 性能維持のために定期的にメンテナンスをする  
製品の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を  
列挙した点検表は当社ホームページに掲載しております。
- (7) この装置をきわめて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する  
極めて高い信頼性が必要とされる用途(鉄道、航空、医療用等)での使用のうち、通信障害による影響度が  
極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム)に使用されることを意図した設計・製造はされておられません。
- (8) 経年劣化などの使用環境に起因した障害に注意する  
稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化により、性能が低下することがあります。  
この装置は、設置後5年程度での交換を推奨いたします。
- (9) この装置を使用できる環境の制限に注意する
  - ① 商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、  
配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバーケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。  
通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。
  - ② VCCIクラスA情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。  
この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.7
<p>9. 使用上の注意・禁止事項</p> <p>(1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。</p> <p>(2) 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。</p> <p>(3) この装置を設置・移動する際は、電源コードを外してください。</p> <p>(4) この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。</p> <p>(5) 仕様限界をこえると誤動作の原因になるおそれがありますので、ご注意ください。</p> <p>(6) この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下しないことをご確認ください。また、ケーブルを接続するときは、装置全体を押さえて接続してください。</p> <p>(7) この装置を高所に取り付ける場合は、別売の取付金具(PNA001)を使用し、壁面に確実に固定してください。マグネットで高所に取り付けた場合は、落下によるけがや製品破損のおそれがあります。</p> <p>(8) マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。記憶内容喪失のおそれがあります。</p> <p>(9) この装置をOAデスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。塗装面によっては傷がつくおそれがあります。</p> <p>(10) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因となることがあります。</p> <p>(11) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となることがあります。</p> <p>(12) 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因になる恐れがあります。</p> <p>(13) 周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください。また、以下場所での保管・使用はしないでください。(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所</li> <li>－ ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)</li> <li>－ 直射日光が当たる場所</li> <li>－ 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所</li> <li>－ 振動・衝撃が強い場所</li> </ul> <p>上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証しかねますのでご注意ください。</p> <p>(14) この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。</p> <p>(15) この装置は放熱効果をあげるためスチールデスクへの取り付けを推奨しています。</p> <p>(16) 壁面や床面に設置すると、放熱により壁材または床材が変色(変形)するおそれがあります。</p> <p>(17) この装置に長時間身体を触れないでください。低温やけどのおそれがあります。</p>			
作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日			

品名	Switch-S8PoE	商品仕様書	401-210899-SP01
品番	PN210899		全8 No.8

## 10. 品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

- (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。
- (2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日より1年間とし、本仕様書に記載された項目とその範囲内とさせていただきます。  
本商品に弊社の責による瑕疵が明らかになった場合には、誠意をもって代替品の提供、または瑕疵部分の交換、修理を本商品の納入場所です速やかに行わせていただきます。
- (3) 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、  
無料修理をさせていただきます。ここでいう保証は、ご購入または納入された本商品単体の保証(無料修理)に限ります。  
●機器の交換作業はお客様で実施をお願いいたします。  
●修理依頼時の当社までの送料はお客様にてご負担ください。
- (4) 保証期間内でも、次の場合には原則として保証対象外とさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や本体ケース開封を含む分解、改造による故障および損傷  
(ロ) 当社の仕様書、カタログ等に記載されている使用条件、環境の範囲を超えた使用による故障および損傷  
(ハ) 施工上の不備に起因する故障や不具合  
(ニ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷  
(ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷  
(ヘ) 取扱説明書で要求されるメンテナンスを行わないことによる故障および損傷  
(ト) 保証書のご提示がない場合  
(チ) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合  
(リ) 日本国内以外でのご使用による故障および損傷  
(ヌ) ファームウェアの不具合

当社は、この仕様書に掲載の商品の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害(逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします)もその責を一切負わないものとします。

作成日	平成 30年 3月 31日	ネットワークソリューション事業本部
改定日		